

---

---

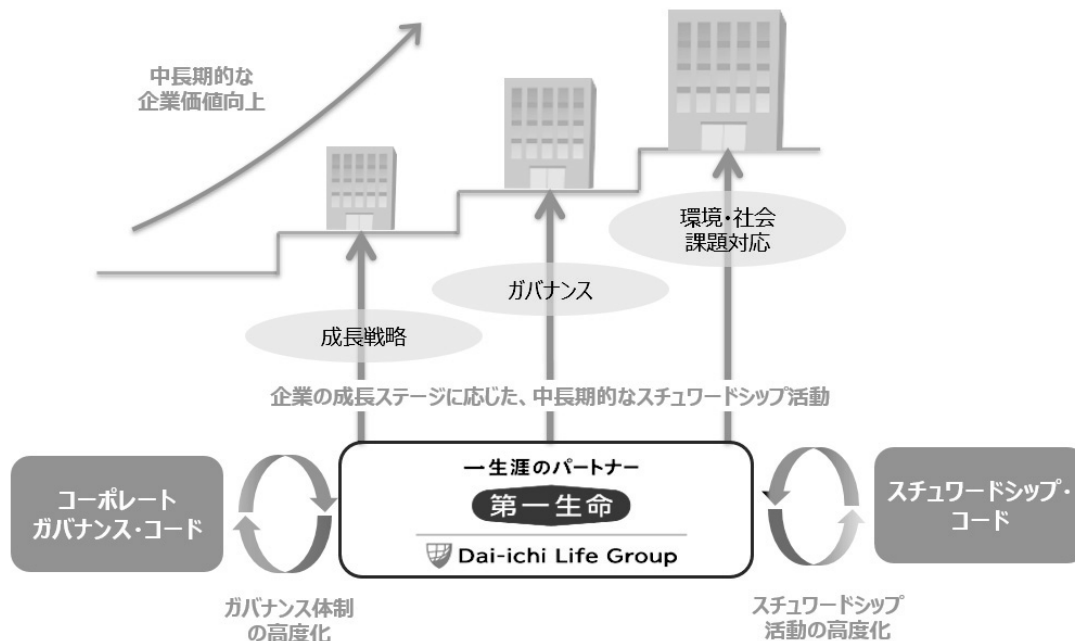
### Ⅲ. ご参考

---

---

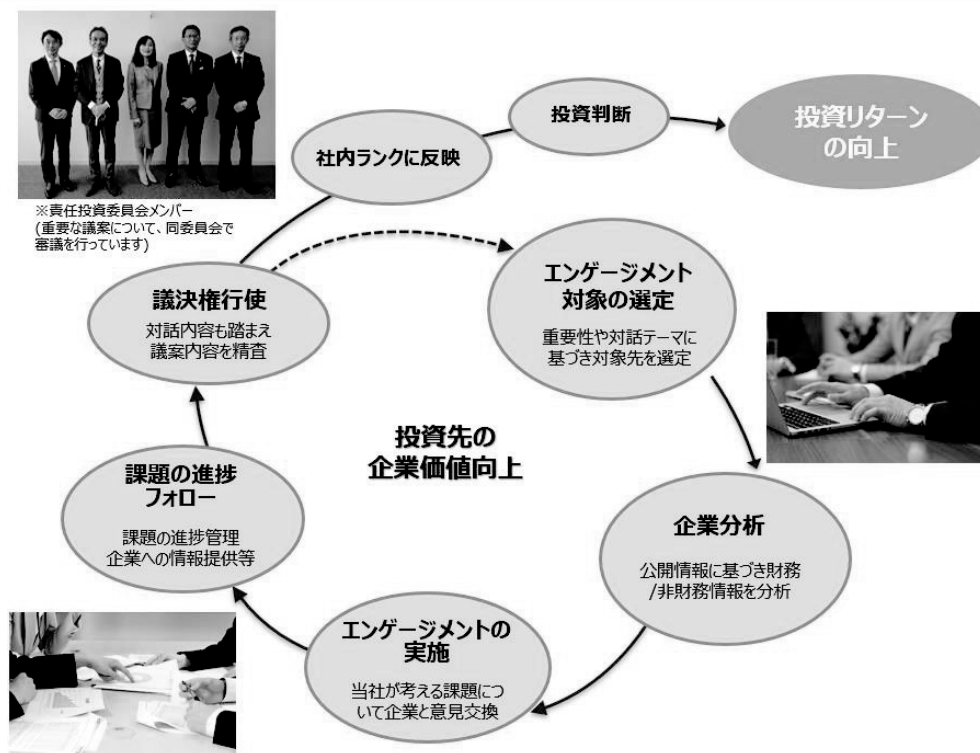
## スチュワードシップ活動の基本的な考え方

- ◆ 「一生涯のパートナー」をグループミッションに掲げる「第一生命らしい」スチュワードシップ活動として、成長ステージ毎に異なる投融資先企業の課題に寄り添い、中長期的な企業価値向上の支援に取り組んでいます。
- ◆ スチュワードシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードの両コードを踏まえ、取組みの高度化を積極的に推進しています。



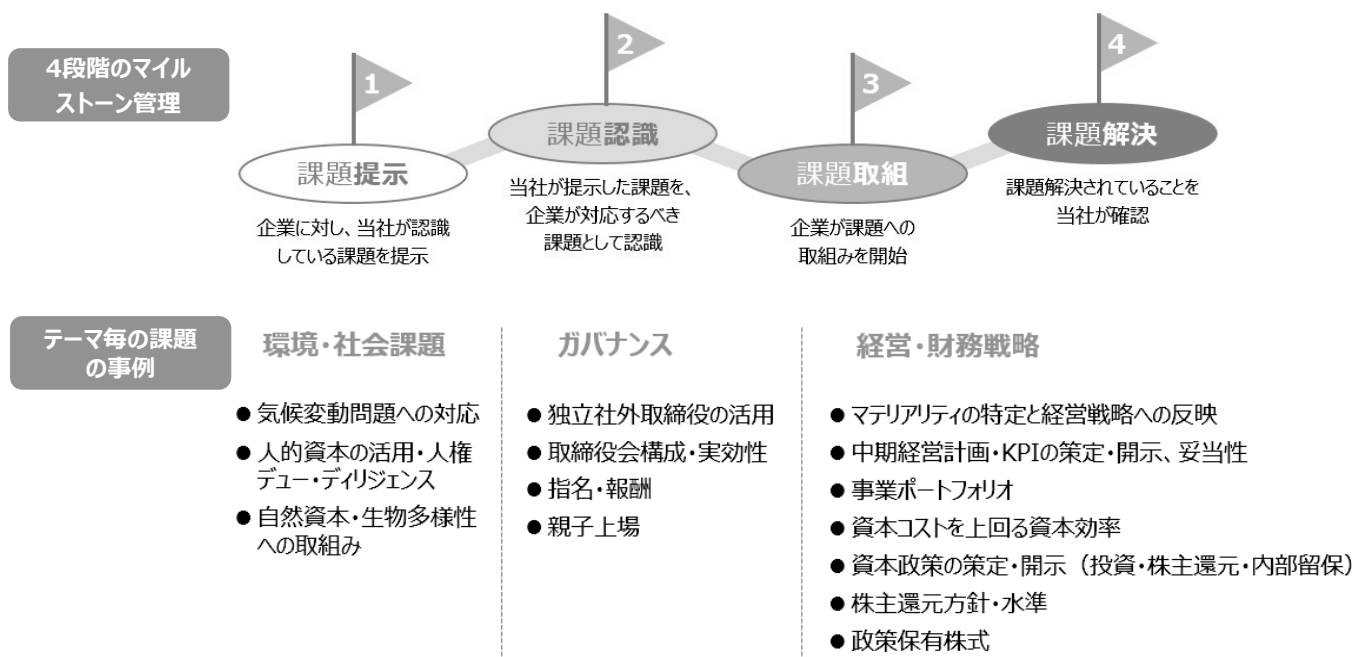
## スチュワードシップ活動のプロセス

- ◆ エンゲージメントを重視したスチュワードシップ活動を通じて、投資先の企業価値向上を促し、当社の中長期的な投資リターンの上を目指します。



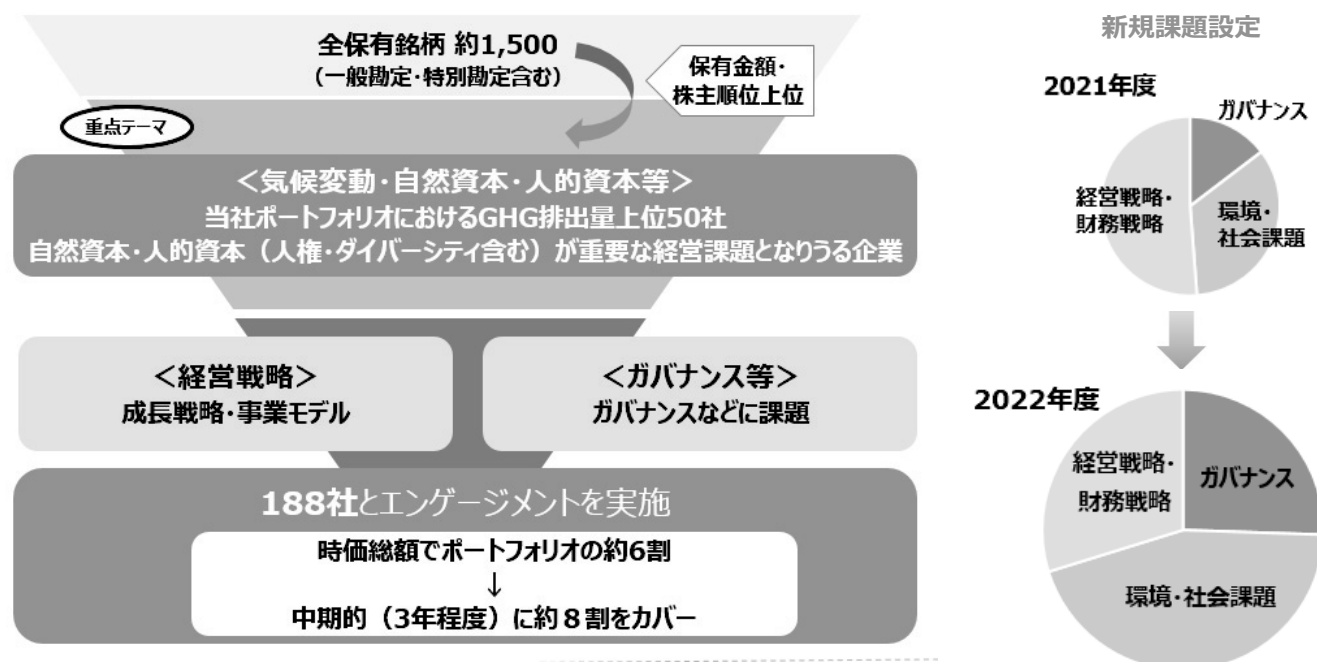
## エンゲージメントの課題進捗フォロー

- ◆ エンゲージメントを踏まえた課題の進捗状況を定期的にフォローし、課題に応じた情報提供の実施などを通じて、投資先企業の課題解決を支援しています。



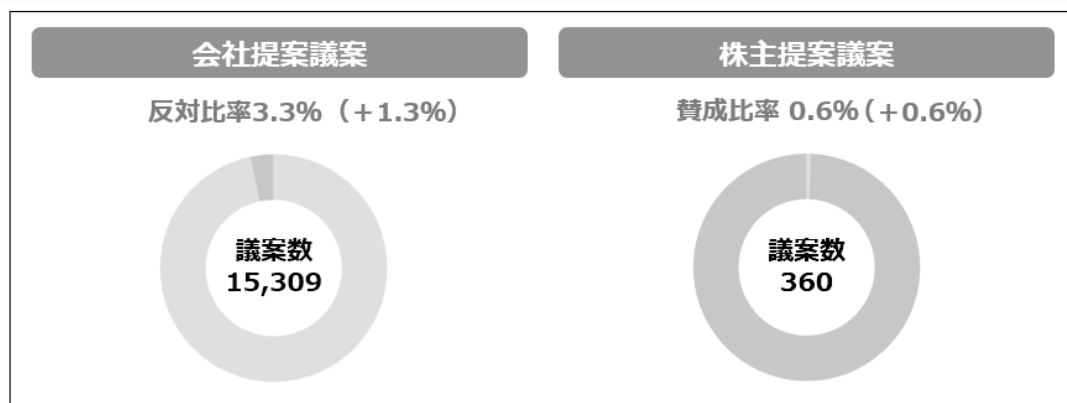
## 2022年度エンゲージメントの実施状況

- ◆ エンゲージメント対象先として、当社ポートフォリオにおけるGHG排出上位50社のほか、保有金額や株主順位等の重要性を踏まえつつ、重点対話テーマや経営戦略・ガバナンス等の視点で企業を選定し、計188社とエンゲージメントを実施しました。
- ◆ GHG排出削減に関する目標設定・ロードマップ策定、経営環境の変化を見据えた収益性向上・経営戦略の策定、不祥事発生後のガバナンス体制の向上、などについて、エンゲージメント対象企業に対して新たに課題として設定しました。



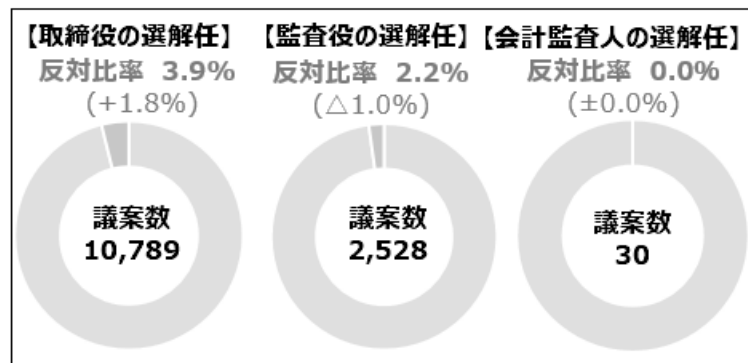
## (ご参考)議決権行使結果(2022年7月～2023年6月)

- ◆ 投資先企業との中長期的なエンゲージメントを重視していることから、会社提案議案に対する反対比率は相対的に低位にとどまっています。
- ◆ 業績不振基準抵触による取締役選解任議案の反対比率上昇を受け、会社提案議案全体の反対比率も前年度比で上昇しました。
- ◆ 株主提案議案につきましては、中長期的な企業価値向上に資するかどうか、という観点から賛否を判断しており、この結果、賛成議案は2議案となっております。

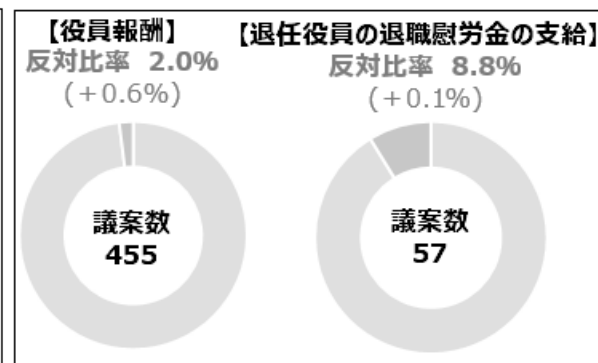


カッコ内は前年度比

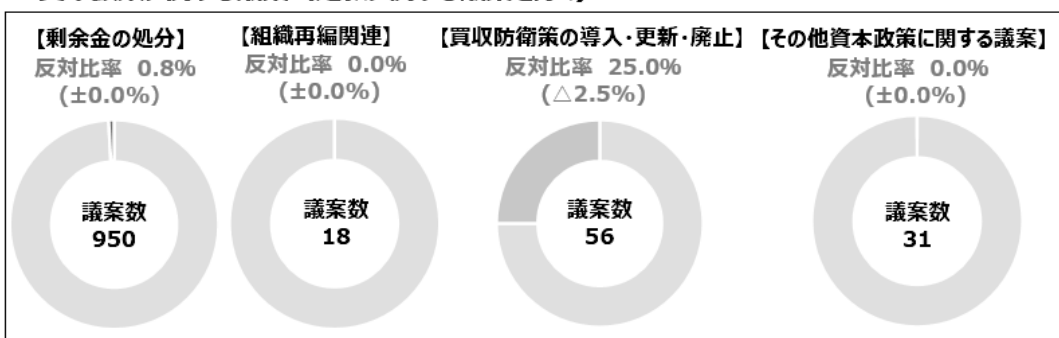
### ■ 会社機関に関する議案



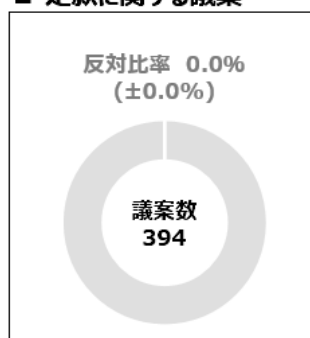
### ■ 役員報酬に関する議案



### ■ 資本政策に関する議案（定款に関する議案を除く）



### ■ 定款に関する議案



※議決権行使基準や個別の行使結果等については、当社ホームページにおける開示資料をご覧ください。

<https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/investment/ssc2.html>

- ◆ 日本版スチュワードシップ・コードへの取組を含む「責任投資の基本方針」などにつきましては、当社HPをご参照ください。

<https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/investment/ri-report.html>

- ◆ 第一生命の「責任投資活動報告」を当社HPに掲載しております。

<https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/investment/ri-report2.html>





# 団体年金保険の契約者配当について

## 団体年金保険の契約者配当還元ルール

### ■ 契約者配当率計算式 ■

契約者配当率	$\begin{aligned} & \text{インカム関連損益部分の利回り} \times \text{還元率①} \\ & + \text{キャピタル関連損益部分の利回り} \times \text{還元率②} \end{aligned}$
インカム関連損益部分の利回り	$\text{利差関係収支} \div \text{経過責任準備金} - \text{予定利率}$
キャピタル関連損益部分の利回り	$\text{利差関係収支以外の資産運用関係収支} \div \text{経過責任準備金}$

※ 上記契約者配当率で計算した契約者配当が当年度利益を超える場合は、利益の範囲内で契約者配当を行います。

### ■ 契約者配当還元率テーブル ■

	拋出型企業年金保険Ⅱ	厚生年金基金保険 新企業年金保険 等*1
還元率①	0 ~ 30%	0 ~ 20%
還元率②	0 ~ 15%	0 ~ 15%

\*1) 予定利率0.75%で解約調整金のない商品

#### 【ご留意事項】

団体年金区分の収益水準または大幅な経済環境の変動等が見込まれる場合には、再度、契約者配当率計算式や契約者配当還元率テーブルを見直す場合があります。

## 契約者配当率の過去実績\*1

(単位：%)

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
拋出型 企業年金保険Ⅱ	0.26 (1.51)	0.43 (1.68)	0.12 (1.37)	0.08 (1.33)	0.09 (1.34)	0.07 (1.32)	0.07 (1.32)	0.00 (1.25)	0.00 (1.25)	0.00 (1.25)
厚生年金基金保険 新企業年金保険 等	0.15 (0.90)	0.27 (1.02)	0.00 (0.75)	0.02 (0.77)	0.06 (0.81)	0.02 (0.77)	0.04 (0.79)	0.00 (0.75)	0.00 (0.75)	0.00 (0.75)

\*1) ( )内は、予定利率+契約者配当率です。